

B 作 況

I 畑 作 物

1. 気象概況（作物開発部 長沼町）

令和6年9月から令和7年10月までの概況は次のとおりである。

令和6年

9月～10月：平年よりやや高～高く推移し、とくに10月は高温であった。降水日数は少なく、日照時間が多かった。初霜は平年より3日早い10月17日であった。

11月～12月：気温は11月が平年並で、12月は低かった。降水量は11月、12月ともに平年より多かった。日照時間は12月が平年より少なかった。根雪始は平年より2日早い12月6日であった。

令和7年

1月～3月：1月、2月は平年より高温に経過し、3月の気温は平年並であった。降水量は1月、2月が平年より少なく、3月は平年より多かった。

4月～5月：気温は平年並で、4月は降水量が多く、日

照時間が少なかった。

6月～7月：平年よりかなり高温に経過し、降水量は6月が少なく、日照時間は多かった。

8月～9月：平年より高温に経過し、降水量は8月が少なく、9月は多かった。日照時間は多かった。

10月：気温は平年並、降水量、日照時間は少なかった。

農耕期間の積算値から、本年の平均気温は平年比109～112%と高く、降水量は平年比80～83%と少なく、日照時間は5～9月の期間では平年より多く、4～10月の期間では平年並であった。根雪終（融雪剤散布）は平年並の3月24日、根雪終（通常）は平年より3日早い3月26日で、積雪期間が平年より2日短い111日であった。降雪終は平年より8日早い3月30日であった。耕鋤始は平年より5日遅い4月18日であった。晩霜は平年より3日早い4月18日であった。初霜は平年より6日早い10月14日で、無霜期間は平年より3日短い180日となった。降雪始は平年より11日早い10月28日であった。

2. 気象表

道総研中央農試（アメダス長沼）

年	月	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	平年比%	本年	平年	平年比%	本年	平年	平年比%
令和6年	9月	18.6	17.8	0.8	24.5	22.9	1.6	13.2	13.1	0.1	92	117	79	7	11	64	201	167	120
(2024)	10月	12.7	10.7	2.0	17.9	15.8	2.1	6.7	5.7	1.0	136	100	136	10	14	71	173	152	114
	11月	4.4	4.2	0.2	8.8	8.4	0.4	-0.1	-0.1	0.0	111	77	144	18	14	4	101	106	95
	12月	-4.7	-2.9	△1.8	-0.5	1.1	△1.6	-9.8	-7.5	△2.3	77	58	133	15	14	1	74	99	75
令和7年	1月	-4.1	-6.0	1.9	0.0	-1.6	1.6	-8.8	-11.3	2.5	46	54	86	10	15	△5	127	106	120
(2025)	2月	-3.5	-4.7	1.2	0.9	-0.3	1.2	-9.2	-10.1	0.9	32	47	69	13	15	△2	106	117	91
	3月	0.5	1.0	△0.5	4.4	5.3	△0.9	-3.5	-3.7	0.2	72	50	144	18	11	7	121	175	69
	4月	7.2	7.0	0.2	12.2	12.1	0.1	2.9	2.1	0.8	112	62	180	16	10	6	127	190	67
	5月	13.3	12.5	0.8	19.3	18.1	1.2	7.9	7.7	0.2	62	66	94	10	12	△2	217	205	106
	6月	19.1	16.2	2.9	24.5	21.1	3.4	15.0	12.4	2.6	62	104	59	11	11	0	196	162	121
	7月	24.2	20.9	3.3	29.6	25.6	4.0	20.5	17.5	3.0	80	88	91	9	10	△1	195	163	120
	8月	23.7	21.8	1.9	28.7	26.3	2.4	19.8	18.4	1.4	59	179	33	14	13	1	166	145	115
	9月	19.4	18.0	1.4	24.9	23.1	1.8	14.3	13.3	1.0	178	112	159	10	11	△1	186	168	110
	10月	10.3	10.9	△0.6	15.0	16.0	△1.0	5.4	5.8	△0.4	46	106	44	16	14	2	132	154	86

- 注 1) 気象データはアメダス長沼。
注 2) 平均値は過去 10 年間の平均値。
注 3) 最高・最低・平均気温は期間内の平均値。降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
注 4) 降水日数は、24 時間降水量が 0.5mm 以上の日をカウントした。
注 5) △は平年値に対し、本年値が少ないあるいは小さいことを示す。

3. 季節表

		初霜	根雪始	融雪剤	通常の	積雪期間	降雪終	耕鋤始	晩霜	初霜	無霜期間	降雪始
				根雪終*	根雪終	(日)					(日)	
本年	(年)	2024	2024	2025	2025		2025	2025	2025	2025		2025
	(月/日)	10/17	12/6	3/24	3/26	111	3/30	4/18	4/18	10/14	180	10/28
平年		10/20	12/8	3/24	3/29	113	4/7	4/13	4/21	10/20	183	11/8
比較		△ 3	△ 2	0	△ 3	△ 2	△ 8	5	△ 3	△ 6	△ 3	△ 11

- 注 1) 平年値は中央農試における前年までの 10 年間の平均。ただし「*」は融雪剤を散布しなかった 2015 年を除く 9 カ年平均。
注 2) 積雪期間の平年値にはうるう年を含むため、根雪始と根雪終との差と一致しない。

4. 農耕期間の積算値

項目 期間		平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	降水量 (mm)	降水日数 (日)	日照時間 (hr)
4～10 月	本年	3,592	4,722	2,628	598	86	1,219
	平年	3,284	4,360	2,368	717	80	1,188
	比較	308	362	260	△ 119	6	31
	平年比%	109	108	111	83	108	103
5～9 月	本年	3,056	3,890	2,374	440	54	960
	平年	2,738	3,499	2,123	549	56	844
	比較	318	391	251	△ 109	△ 2	116
	平年比%	112	111	112	80	96	114

注) ラウンドの関係で上の月別値の合計とは合わない場合がある。

5. 耕種概要

	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	ひまわり	20	条播	—	200	—
春まき小麦	4.8	4	ひまわり	20	条播	—	340	—
大豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	エン麦	75	30	—	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)					備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	
秋まき小麦	4.0+6.0+4.0	8.0	4.0	0.8	—	N:基肥4+起生期6(4/2)+止葉期4(5/21)
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—	
大豆	1.5	12.5	6.5	3.5	—	
小豆	4.2	16.8	9.8	3.5	—	
ばれいしょ	10.4	16.4	13.6	—	1000kg	

注) 平成 13 年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

6. 作 況

(1) 秋まき小麦(令和6年播種) 作況: やや不良
事由: 出芽期は平年より3日遅い9月30日であった。出芽後の生育は順調で、越冬前後の茎数は、播種期が遅かったことにより、平年より少なかった。融雪期は平年並で、積雪期間は111日で平年より2日短かった。雪腐病による冬損程度は平年より少

なかった。出穂期は6月1日で、平年並であった。高温により登熟が早く進み、成熟期は平年より6日早い7月10日であった。成熟期における稈長は平年より短く、穂長は平年並で、穂数は平年より少なかった。子実重は830kg/10aで、平年対比96%であった。千粒重および容積重は平年並であった。検査等級は1等で平年並であった。

項目 \ 年次		品種名			きたほなみ		
		本年	平年	比較			
播種期	(R6.月.日)	9.24	9.20	4			
出芽期	(R6.月.日)	9.30	9.27	3			
出穂期	(R7.月.日)	6.1	6.1	0			
成熟期	(R7.月.日)	7.10	7.16	△ 6			
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.0	0.6	△ 0.6			
草 丈 (cm)	R6.10.20	13.2	19.1	△ 5.9			
	R7.5.20	53.4	57.4	△ 4.0			
	R7.6.20	96.6	100.1	△ 3.6			
茎 数 (本/㎡)	R6.10.20	250	592	△ 342			
	越冬前(11月)	838	1249	△ 411			
	越冬後(4月)	1055	1979	△ 924			
	R7.5.20	928	1269	△ 342			
	R7.6.20	561	849	△ 287			
成熟期に おける	稈長 (cm)	84	89	△ 5			
	穂長 (cm)	9.2	9.2	0.0			
	穂数 (本/㎡)	554	810	△ 257			
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.0	0.1	△ 0.1			
子実重	(kg/10a)	830	864	△ 34			
容積重	(g)	830	830	△ 0			
千粒重	(g)	39.9	39.1	0.8			
品質	(等級)	1等	1等	-			
子実重平年対比 (%)		96	100	△ 4			

注1) 播種粒数: 200粒/㎡、施肥: 基肥4kg/10a

追肥: 起生期(翌年4月頃) 硫安6kg/10a、止葉期(翌年5月頃) 硫安4kg/10a。

前7か年中、令和5年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

5月20日、6月20日の草丈および茎数は令和2年を除く4か年平均。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

(2) 春まき小麦 作況：やや良

事由：本年の根雪終（融雪剤散布）は、平年より3日早い3月26日であった。播種期は平年より3日遅い4月18日、出芽期は平年より2日遅かった。4月下旬の気温は平年よりやや低く、5月以降の気温は平年よりやや高く推移した。5月20日時点での草丈は平年より短く、茎数は平年を下回った。5月下旬の気温はほぼ平年並、6月は平年より高く推移した。出穂期は平年より2日遅く、6月20日現在の草丈は平年よりやや長い、茎数は平年より

少なかった。その後も気温は平年より高く推移し、6月中旬から7月上旬の日照時間は平年を上回り、少雨で経過した。成熟期は平年より6日早く、登熟日数は平年より8日短くなった。成熟期における稈長および穂長はほぼ平年並、穂数は平年より1～4%少なかった。子実重は平年比102～108%と平年を上回った。千粒重は平年より約3g軽く、容積重は平年よりやや軽かった。子実の外観は粉状質粒が散見された。検査等級は平年並の1等であった。

品種名		春よ恋			はるきり		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月・日)	4.18	4.15	3	4.18	4.15	3
出芽期	(月・日)	4.30	4.28	2	5.1	4.29	2
出穂期	(月・日)	6.16	6.14	2	6.14	6.12	2
成熟期	(月・日)	7.23	7.29	△ 6	7.25	7.31	△ 6
草 丈 (cm)	5月20日	21.4	22.3	△ 0.9	23.8	24.9	△ 1.1
	6月20日	85	81	4	89	82	7
茎 数 (本/㎡)	5月20日	364	698	△ 334	396	643	△ 247
	6月20日	511	648	△ 137	533	632	△ 99
7月20日ま たは 成熟期の	稈長 (cm)	90	90	0	87	86	1
	穂長 (cm)	8.7	8.6	0.1	7.9	7.8	0.1
	穂数 (本/㎡)	420	437	△ 17	434	438	△ 4
子実重	(kg/10a)	517	480	37	562	552	10
千粒重	(g)	39.2	42.0	△ 2.8	43.4	46.5	△ 3.1
容積重	(g)	814	833	△ 19	818	835	△ 17
品質	(等級)	1	1		1	1	
子実重平年対比 (%)		108	100	8	102	100	2

注) 平年値: 前7か年中、令和5年(最凶)、令和6年(最豊)を除く5か年平均。

(3) 大豆 作況：良

事由：播種期は平年並の5月19日であった。播種後降雨があり、気温も平年並であったことから、出芽期は平年並の6月1日であった。6月以降開花期まで高温に経過した。6月中旬～7月上旬はかなり気温が高く、降水量が少なかったため、やや干ばつ気味に経過し、開花期は平年より5日早い7月7日であった。7月中旬にまとまった降水があった。開花期以降も気温は平年に比べやや高～高く推移

し、成熟期は平年より1日早い9月29日であった。干ばつの影響により主茎長、主茎節数は平年並であったが、開花期以降干ばつ傾向が解消されたため分枝数はやや多く、着莢数は多かった。一莢内粒数は平年並であったが、百粒重はやや重かった。そのため子実重は平年比120%と多収となった。しかし、開花期の干ばつの影響により裂皮が多く発生したため、等級は特定加工用合格であった。

品種名		トヨムスメ		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.19	0
出芽期	(月.日)	6.1	6.1	0
開花期	(月.日)	7.7	7.12	△ 5
成熟期	(月.日)	9.29	9.30	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	16.1	12.4	3.7
	7月20日	54.6	48.6	6.0
	8月20日	56.0	54.2	1.8
	9月20日	52.2	53.3	△ 1.1
	成熟期	52.5	52.9	△ 0.4
主茎節数 (節)	6月20日	4.4	3.5	0.9
	7月20日	10.4	9.7	0.7
	8月20日	10.4	9.9	0.5
	9月20日	10.6	10.0	0.6
	成熟期	10.3	9.7	0.6
分枝数 (本/株)	7月20日	7.0	6.2	0.8
	8月20日	8.3	6.9	1.4
	9月20日	7.9	6.8	1.1
	成熟期	7.5	6.7	0.8
着莢数 (莢/株)	8月20日	96.8	86.2	10.6
	9月20日	91.3	78.8	12.5
	成熟期	87.7	79.5	8.2
一莢内粒数		1.81	1.86	△ 0.05
子実重	(kg/10a)	520	458	62
百粒重	(g)	40.7	37.4	3.3
屑粒率	(%)	2.1	1.7	0.4
品質	(等級)	合格	2下	
子実重平年対比 (%)		114	100	14

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和6年(最豊)を除く5か年平均。

(4) 小豆 作況：良

事由：播種期は平年並の 5 月 22 日であった。6 月以降はやや高温に経過し、出芽期は平年より 7 日早い 6 月 5 日であった。出芽後も高温に経過し、開花期は 7 月 15 日で平年より 8 日早かった。開花期後も高温傾向が続いたことにより、成熟期は 9 月 8

日で平年より 2 日早かった。成熟期における主茎長は平年よりやや長く、主茎節数、着莢数および一莢内粒数は平年より多く、分枝数は平年よりやや多かった。子実重は 339kg/10a と、平年比 111% であった。百粒重は平年よりやや軽かった。屑粒率は平年並で、検査等級は 3 等中で平年並であった。

品種名		エリモ167		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.5	6.12	△ 7
開花期	(月.日)	7.15	7.23	△ 8
成熟期	(月.日)	9.8	9.10	△ 2
主茎長 (cm)	6月20日	5.0	4.4	0.6
	7月20日	21.6	19.8	1.8
	8月20日	64.6	55.1	9.5
	成熟期	68.3	59.1	9.2
主茎節数 (節)	6月20日	2.4	1.8	0.6
	7月20日	11.3	8.0	3.3
	8月20日	17.4	14.7	2.7
	成熟期	16.6	14.2	2.4
分枝数 (本/株)	7月20日	4.8	3.5	1.3
	8月20日	5.4	4.5	0.9
	成熟期	4.9	4.2	0.7
着莢数 (莢/株)	8月20日	49.7	52.3	△ 2.6
	成熟期	53.8	45.8	8.0
一莢内粒数		6.54	5.93	0.61
子実重	(kg/10a)	339	305	34
百粒重	(g)	13.3	13.8	△ 0.5
屑粒率	(%)	6.6	5.6	1.0
品質	(等級)	3中	3中	-
子実重平年対比 (%)		111	100	11

注1) 平年値は前7か年中、令和3年(最豊)、令和5年(最凶)を除く5か年平均。

(5) ばれいしょ 作況：不良

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より 3 日早い 3 月 26 日で、植付期は平年より 6 日遅い 5 月 2 日であった。植付期以降の平均気温は平年よりやや高く推移し、萌芽期は平年より 2 日遅い 5 月 21 日、開花始は平年並の 6 月 16 日であった。6 月下旬以降、高温少雨で経過し、7 月 10 日頃から茎葉の黄化が始まった。7 月 20 日時点での茎長は平

年よりやや短く、茎数はやや少なかった。その後も高温で経過し、8 月中旬以降、一部の茎葉で二次生長が生じた。枯凋期は平年より 6 日遅い 8 月 30 日であった。枯凋期における株当たりの上いも数は平年より少なく、上いも平均一個重はほぼ平年並であった。上いも重、中以上いも重は平年比 93% と平年を下回り、でん粉価は平年を下回った。塊茎の一部において、こぶ型の二次生長が認められた。

品種名		男爵薯		
項目	年次	本年	平年	比較
植付期	(月・日)	5.2	4.26	6
萌芽期	(月・日)	5.21	5.19	2
開花始	(月・日)	6.16	6.16	0
枯凋期	(月・日)	8.30	8.24	6
茎長	6月20日	30	34	△ 4
(cm)	7月20日	34	41	△ 7
茎数	6月20日	4.7	5.1	△ 0.4
(本/株)	7月20日	4.7	5.3	△ 0.6
8月20日における				
上いも数	(個/株)	11.6	13.2	△ 1.6
上いも平均一個重(g)		76	81	△ 5
上いも重	(kg/10a)	3939	4694	△ 755
でん粉価	(%)	14.3	15.4	△ 1.1
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	12.1	13.5	△ 1.4
上いも平均一個重(g)		85	83	2
上いも重	(kg/10a)	4523	4861	△ 338
中以上いも重(kg/10a)		3631	3907	△ 276
でん粉価	(%)	13.8	15.1	△ 1.3
上いも重平年対比	(%)	93	100	△ 7
中以上いも重	〃 (%)	93	100	△ 7
でん粉価	〃 (%)	91	100	△ 9

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和5年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、枯凋期は二次生長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。

(6) 中央農試作況報告について

平成 13 年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではない。

Ⅱ 水 稲

1. 気象概況

本年の根雪終は4月6日で平年より6日遅く、降雪終は4月30日で平年より9日遅く、晩霜は5月1日で平年より2日遅かった。

4月：平均気温は7.1℃で平年より0.2℃低く、降水量は平年の217%、日照時間は平年の63%であった。

5月：平均気温は13.9℃で平年より0.7℃高く、降水量は平年の83%、日照時間は平年の109%であった。

6月：平均気温は19.6℃で平年より2.8℃高く、降水量は平年の50%、日照時間は平年の116%であった。

7月：平均気温は24.8℃で平年より3.3℃高く、降水量は平年の83%、日照時間は平年の110%であった。

8月：平均気温は23.7℃で平年より1.6℃高く、降水量は平年の38%、日照時間は平年の106%であった。

9月：平均気温は19.4℃で平年より1.3℃高く、降水量は平年の181%、日照時間は平年の109%であった。

10月：平均気温は10.2℃で平年より0.8℃低く、降水量は平年の95%、日照時間は平年の84%であった。

農耕期間の5月から9月までの積算値は、平均気温が平年の110%、降水量は平年の82%、日照時間は平年の110%であった。

本年の初霜は10月30日で平年より12日遅く、降雪始は10月24日で平年より7日早かった。

2. 作況：不良

事由：播種は平年と同日の4月17日に行った。出芽期は平年より4～5日遅く、出芽後は高温で経過した。移植は平年と同日の5月20日に行った。移植時の苗形質は、草丈は平年よりやや長く、主稈葉数は平

年よりやや多く、苗の充実度（地上部乾物重/草丈）は平年より下回った。

移植直後の強風および低温の影響で葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じたが、その後は平年並から高温で経過したことから生育は回復した。6月中旬から7月上旬まで極めて高温に経過したため、止葉期は平年より7～8日、出穂期は平年より9日早く、穂揃日数は平年より0.2日短かった。その後8月下旬まで継続して高温に経過し、成熟期は平年より10日早く、登熟日数は平年より1日短かった。

稈長は56.2～59.0cmで平年より短く、穂長は15.7～16.0cmで平年よりやや短かった。6月以降の異常な高温により幼穂形成が早まり、有効茎数が十分確保できなかったことから、穂数は543～609本/㎡と平年を大きく下回った。一穂粒数は平年より11～15%少なく、1㎡あたり粒数は22,700～23,600粒で平年より24%少なかった。稔実歩合は平年並だったが、1㎡あたり稔実粒数は平年より24～27%少なかった。登熟歩合は平年よりやや高かったが、1㎡あたり登熟粒数は20,500～21,800粒で平年より20%少なかった。わら重、精粒重はそれぞれ平年比78～87%、74～75%であり、籾摺歩合は平年より0.1～0.9ポイント低く、屑米歩合は平年より0.4～1.4ポイント低かった。精玄米千粒重は平年より0.5～0.6g重かった。精玄米重は40.8～42.7kg/aと平年を大きく下回り、収量平年比は73～75%と著しい低収を示した。検査等級は1等で平年を上回った。

以上により、本年の作況は不良である。

なお、本作況圃は、移植直後の強風の影響で活着や分けつの発生が大きく遅れたことなどにより、生育が場内の他試験圃より劣った。

気象表

月旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(h)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比%	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比%
4月上旬	5.3	5.1	0.2	10.1	10.0	0.1	0.9	0.4	0.5	6.5	11.0	△ 4.5		6	4.2	1.8	43.4	67.1	△ 23.7	
中旬	8.8	7.5	1.3	14.3	12.8	1.5	4.2	2.4	1.8	67.0	25.9	41.1		7	3.9	3.1	38.0	61.4	△ 23.4	
下旬	7.3	9.3	△ 2.0	12.5	14.8	△ 2.3	2.8	3.9	△ 1.1	36.0	13.6	22.4		7	3.5	3.5	42.1	68.6	△ 26.5	
5月上旬	12.1	11.4	0.7	17.7	17.1	0.6	6.7	6.2	0.5	27.0	21.1	5.9		4	4.2	△ 0.2	60.5	64.8	△ 4.3	
中旬	15.4	13.2	2.2	21.5	19.0	2.5	9.7	7.9	1.8	12.5	28.1	△ 15.6		5	3.4	1.6	77.4	74.0	3.4	
下旬	14.1	14.8	△ 0.7	20.3	20.5	△ 0.2	8.3	9.7	△ 1.4	25.0	28.6	△ 3.6		2	4.2	△ 2.2	95.0	75.8	19.2	
6月上旬	16.6	15.3	1.3	21.8	20.7	1.1	11.6	10.7	0.9	22.0	33.4	△ 11.4		3	4.1	△ 1.1	62.1	62.5	△ 0.4	
中旬	19.9	16.8	3.1	25.7	21.9	3.8	15.4	12.7	2.7	14.0	31.9	△ 17.9		4	3.4	0.6	71.3	58.9	12.4	
下旬	22.3	18.3	4.0	27.8	23.4	4.4	17.9	14.3	3.6	14.5	35.8	△ 21.3		3	3.9	△ 0.9	66.3	50.5	15.8	
7月上旬	24.7	19.8	4.9	30.7	25.0	5.7	20.1	15.8	4.3	0.5	30.9	△ 30.4		1	3.7	△ 2.7	73.1	56.6	16.5	
中旬	23.5	21.4	2.1	28.2	26.6	1.6	20.1	17.6	2.5	35.0	33.7	1.3		4	3.4	0.6	51.0	59.9	△ 8.9	
下旬	26.2	23.0	3.2	31.5	27.9	3.6	22.4	19.4	3.0	46.5	34.0	12.5		4	3.3	0.7	74.3	63.7	10.6	
8月上旬	24.5	23.3	1.2	29.2	28.2	1.0	21.0	19.5	1.5	19.0	57.1	△ 38.1		5	4.2	0.8	48.9	55.4	△ 6.5	
中旬	24.2	21.7	2.5	29.4	26.3	3.1	19.0	18.2	0.8	33.0	77.7	△ 44.7		3	4.7	△ 1.7	67.9	46.3	21.6	
下旬	22.5	21.5	1.0	27.1	26.2	0.9	18.9	17.6	1.3	24.5	66.2	△ 41.7		6	4.6	1.4	49.6	55.3	△ 5.7	
9月上旬	22.2	20.6	1.6	26.9	25.8	1.1	17.8	16.1	1.7	42.5	27.9	14.6		3	2.7	0.3	53.7	62.7	△ 9.0	
中旬	19.0	17.7	1.3	24.5	22.8	1.7	13.5	13.3	0.2	111.0	57.0	54.0		5	4.5	0.5	72.0	51.3	20.7	
下旬	17.0	16.0	1.0	22.2	21.5	0.7	11.8	11.1	0.7	58.5	32.5	26.0		4	3.4	0.6	63.7	59.3	4.4	
10月上旬	15.4	13.6	1.8	20.9	18.4	2.5	10.1	9.3	0.8	4.0	53.4	△ 49.4		2	5.2	△ 3.2	68.1	46.4	21.7	
中旬	9.8	10.6	△ 0.8	14.1	15.7	△ 1.6	5.6	5.8	△ 0.2	39.0	43.2	△ 4.2		6	5.9	0.1	33.9	52.4	△ 18.5	
下旬	5.9	9.1	△ 3.2	10.0	13.8	△ 3.8	2.2	4.4	△ 2.2	78.0	29.9	48.1		10	5.1	4.9	23.0	50.3	△ 27.3	
4月	7.1	7.3	△ 0.2	12.3	12.6	△ 0.3	2.6	2.2	0.4	109.5	50.4	59.1	217	20	11.6	8.4	123.5	197.0	△ 73.5	63
5月	13.9	13.2	0.7	19.8	19.0	0.8	8.2	8.0	0.2	64.5	77.7	△ 13.2	83	11	11.8	△ 0.8	232.9	214.6	18.3	109
6月	19.6	16.8	2.8	25.1	22.0	3.1	15.0	12.6	2.4	50.5	101.1	△ 50.6	50	10	11.4	△ 1.4	199.7	171.9	27.8	116
7月	24.8	21.5	3.3	30.2	26.6	3.6	20.9	17.7	3.2	82.0	98.5	△ 16.5	83	9	10.4	△ 1.4	198.4	180.2	18.2	110
8月	23.7	22.1	1.6	28.5	26.9	1.6	19.6	18.4	1.2	76.5	201.0	△ 124.5	38	14	13.5	0.5	166.4	157.0	9.4	106
9月	19.4	18.1	1.3	24.5	23.4	1.1	14.4	13.5	0.9	212.0	117.4	94.6	181	12	10.6	1.4	189.4	173.7	15.7	109
10月	10.2	11.0	△ 0.8	14.8	15.9	△ 1.1	5.9	6.4	△ 0.5	121.0	126.8	△ 5.8	95	18	16.2	1.8	125.0	149.5	△ 24.5	84

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

季節表 (年、月、日)

区別	初 霜	根雪始	根雪終	降雪終	耕 鋤 始	晩 霜	初 霜	降雪始
本年	R6. 10.21	R6. 12.6	R7. 4.6	R7. 4.30	R7. 4.28	R7. 5.1	R7. 10.30	R7. 10.24
平年	10.18	12.1	3.31	4.21	5.3	4.29	10.18	10.31
比較	3	5	6	9	△ 5	2	12	△ 7

注) 平年値は中央農試水田農業部における前10ヶ年の平均値を用いた。

農耕期間(5月～9月)積算値

区別	平均気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(h)
本年	3,102	486	987
平年	2,808	596	898
比較	294	△ 110	89
平年比%	110	82	110

注) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

品種名 苗種		ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.17	4.17	0	4.17	4.17	0
出芽期	(月.日)	4.27	4.22	5	4.26	4.22	4
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0
幼穂形成期	(月.日)	6.27	6.29	△ 2	6.27	6.29	△ 2
止葉期	(月.日)	7.8	7.15	△ 7	7.8	7.16	△ 8
出穂期	(月.日)	7.16	7.25	△ 9	7.16	7.25	△ 9
成熟期	(月.日)	8.30	9.9	△ 10	8.30	9.9	△ 10
穂揃日数	(日)	6.0	6.2	△ 0.2	6.0	6.2	△ 0.2
登熟日数	(日)	45	46	△ 1	45	46	△ 1
生育日数	(日)	135	145	△ 10	135	145	△ 10
草丈(cm)	移植時	11.6	11.0	0.6	12.5	10.8	1.7
茎数(本/個体)	移植時	1.2	1.0	0.2	1.4	1.0	0.4
主稈葉数(枚)	移植時	3.5	3.2	0.3	3.8	3.4	0.4
第1葉鞘高(cm)	移植時	3.1	2.8	0.3	2.5	2.6	△ 0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	1.84	2.37	△ 0.53	2.24	2.40	△ 0.16
地上部乾物重/草丈	移植時	0.16	0.22	△ 0.06	0.18	0.22	△ 0.04
草丈	6月20日	30.1	27.6	2.5	30.0	27.5	2.5
(cm)	7月20日	72.9	71.1	1.8	74.0	71.1	2.9
茎数	6月20日	321	321	0	309	382	△ 73
(本/㎡)	7月20日	572	644	△ 72	640	768	△ 128
主稈	6月20日	7.0	7.1	△ 0.1	7.5	7.4	0.1
葉数	7月20日	9.8	10.2	△ 0.4	10.0	10.6	△ 0.6
(枚)	止葉	9.8	10.3	△ 0.5	10.0	10.6	△ 0.6
稈長	(cm)	59.0	66.2	△ 7.2	56.2	64.4	△ 8.2
穂長	(cm)	15.7	16.2	△ 0.5	16.0	16.7	△ 0.7
穂数	(本/㎡)	543	608	△ 65	609	716	△ 107
一穂粒数	(粒/本)	43.5	51.2	△ 7.7	37.3	41.7	△ 4.4
粒数	(千粒/㎡)	23.6	31.1	△ 7.5	22.7	29.9	△ 7.2
稈実歩合	(%)	94.5	93.8	0.7	90.4	93.9	△ 3.5
稈実粒数	(千粒/㎡)	22.3	29.2	△ 6.9	20.5	28.1	△ 7.6
登熟歩合	(%)	92.5	87.9	4.6	90.2	85.7	4.5
登熟粒数	(千粒/㎡)	21.8	27.3	△ 5.5	20.5	25.6	△ 5.1
粒摺歩合	(%)	77.6	78.5	△ 0.9	74.7	74.8	△ 0.1
屑米歩合	(%)	4.3	4.7	△ 0.4	6.6	8.0	△ 1.4
精玄米千粒重	(g)	23.5	23.0	0.5	24.0	23.4	0.6
わら重	(kg/a)	52.4	60.1	△ 7.7	47.6	60.8	△ 13.2
精粒重	(kg/a)	55.0	74.8	△ 19.8	54.6	72.7	△ 18.1
精玄米重	(kg/a)	42.7	58.7	△ 16.0	40.8	54.4	△ 13.6
屑米重	(kg/a)	1.9	2.9	△ 1.0	2.9	4.7	△ 1.8
収量平年比	(%)	73	100	△ 27	75	100	△ 25
検査等級		1等	2上	-	1等	2上	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和6年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/㎡ 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は、枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水を用いて調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は、水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

Ⅲ 果 樹

1. りんご 作況：平年並

事由：3月から4月の気温が平年並み～やや低く推移したため、発芽期、展葉期は平年並みから2～3日遅かったが、5月の気温が高く、開花始は平年並みで満開期は1～2日早かった。花芽率はいずれの品種も平年より高く、開花始から満開期が好天であったため、果そう結実率は「ハックナイン」では平年並みで「つがる」「ふじ」では平年より高かった。

果実肥大は、5月から6月にかけて高温だったことから、7月1日時点では「つがる」は平年よりやや大きく、「ハックナイン」、「ふじ」は大きかった。8月の少雨により早生の「つがる」で果実肥大が鈍化し、9月1日時点の「つがる」の果実体積は

平年よりやや小さかった。最終的な一果重は、「つがる」は平年並み、「ハックナイン」、「ふじ」は9月の降雨により果実肥大がすすみ、平年より大きかった。

収穫期はいずれの品種も平年並みだった。果実品質は、いずれの品種も着色がやや少なく、硬度がやや低かった。糖度は「つがる」、「ハックナイン」が平年並みであったが、「ふじ」はやや低かった。病害虫については、腐らん病が平年並みに発生したものの、その他目立った病虫害の発生は認められなかった。収穫期に鳥類による食害が発生した。

花芽率、果そう結実率が平年並みから高く、収穫果実の一果重が平年並みからやや大きかった一方、果実品質が平年並みからやや劣った。

以上のことから、本年の作況は「平年並」である。

項目		品種 ²⁾	つがる/JM7 ⁴⁾		ハックナイン/JM7		ふじ/JM7	
		年次	本年	平年	本年	平年	本年	平年
		樹齢	14	11	10	13	10	12
生育経過	発芽期	(月.日)	4.19	4.17	4.18	4.15	4.17	4.17
	展葉期	(月.日)	5.2	4.30	4.27	4.25	4.29	4.27
	開花始	(月.日)	5.16	5.16	5.15	5.15	5.16	5.16
	満開期	(月.日)	5.20	5.22	5.20	5.21	5.21	5.22
	落花期	(月.日)	5.28	5.28	5.27	5.27	5.27	5.28
	花芽率	(%)	96.4	93.1	89.6	82.7	87.7	75.1
果そう結実率		(%)	92.2	88.1	86.2	86.9	91.0	83.9
果実体積 ³⁾	7月1日		25.9	23.2	36.5	28.7	24.6	20.7
	平年対比(%)		112	(100)	127	(100)	119	(100)
	9月1日		211.3	226.5	286.0	241.5	190.1	172.9
	平年対比(%)		93	(100)	118	(100)	110	(100)
収量	収穫日	(月.日)	9.26	9.25	10.24	10.24	11.10	11.10
	一樹当り収量	(kg)	68.1	32.3	66.5	47.6	70.8	49.0
	収穫果一果重	(g)	285	292	432	352	314	292
果実品質	地色指数	(緑1-8黄)	4.8	4.5	4.1	4.0	4.6	3.8
	着色	(無0-10多)	7.0	7.8	5.5	7.2	5.3	7.5
	硬度	(lbs)	12.3	13.2	11.7	13.1	13.4	16.1
	糖度	(%)	14.5	14.2	14.4	14.4	13.6	15.1
	酸度	(g/100ml)	0.43	0.34	0.61	0.53	0.57	0.51
	蜜入り	(無0-4多)	0.0	0.2	1.7	1.6	2.2	2.7
	ヨード	無0-5全面)	2.3	2.0	2.2	2.0	2.3	1.7

注1) 平年値は2015～2024年の10カ年平均である。

2) 「品種」は品種名/台木名として示した。

3) 果実体積 (cm³) = 4/3π {(縦径+横径)/4}³

4) つがるに落果防止剤使用(9月4日)